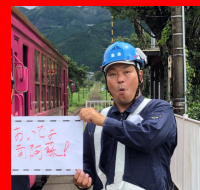


南阿蘇鉄道 復興支援プロジェクト 地震による南阿蘇鉄道の 再生関連業務

ふじおか まさと
藤岡 政人
Fujioka Masato

出身：FAREAST 大阪
隊員歴：1年半



単身大阪働き時代は「始発～終電」の生活でした。そんな生活の中、家内がドライブで南阿蘇に連れて行ってくれました。長陽駅でお茶をして見晴台駅でトロッコ列車を見た時“笑顔の子供達”が手を振ってくれました。その瞬間「あ、この鉄道会社で働きたい」と思い移住を決意し、南阿蘇の協力隊になることに。家族の笑顔と温泉、この二つが存在するのはここしかないです。特技は状況判断！



プロジェクト概要

熊本地震の被害が大きかった南阿蘇鉄道の復興と2023年の全線開通へ向けての取り組みをサポートしています。
現在関わっている業務は、施設及び保線の整備や管理の業務です。営業区間の設備維持はもちろん、現在は不通区間の[立野～中松]間も同時進行で踏切設備や軌道の維持管理を行っています。

活動実績・進捗



全ての基本は清掃から

設備管理 (2019.11～現在～これから)

踏切設備の維持作業の写真。農業が盛んな南阿蘇村では農作業車が踏切を往来する回数が多くなります。踏切の溝に入り込んだ土は溜まりやすく、清掃を怠ると踏み固められた土で列車の脱線事故に繋がります。とても地味ですが重要な作業のひとつとなります。これは全踏切に関係するので丁寧に清掃を行います。

野焼きは草原だけじゃない

沿線の野焼き (2020.2～現在～これから)

沿線を焼き払う為、枕木に引火する可能性もあります。作業前に自治会長さんや作業協力者の方たちのミーティングに参加し、危険項目や要注意箇所の説明を行います。火を扱う危険作業は自治体の方々の協力なくしては出来ない大切な作業だと実感します。



伐採作業で見晴らし良く！

(2020.4～現在～これから)

伐採作業とは列車運行の妨げになる草や木を処理することです。伐採を行う土地の地主さんとしつかり話し合い、作業を進めます。地域の高齢化や人手不足も課題となっていますが、常に状況を共有し協力体制を築くことで作業を円滑に進めています。現在、不通区間（中松～立野）でも、村民の方々が積極的に伐採にご協力頂いています。2023年の全線開通に向け、地域全体で景観や安全が保たれています。

協力隊任期後に向けて



南阿蘇鉄道2023年 全線開通へ向けてSTART！

村民の方々の通勤通学の交通手段として役立ちたく、上司に教えを頂きながら、一步步進んでいます。厳しい時期からのスタートとなりましたが、まずはこの苦境を乗り越え、安全に列車の運行ができることが私の使命であり目標です。

これからも南阿蘇鉄道を応援してください！

私のお気に入り写真



夕暮れの南阿蘇鉄道の車両倉庫。雪が残る線路と赤く染まる阿蘇山。毎日この景色を見ることが出来るのは本当に贅沢です。